

(報道資料)

パスコと米ヴェリस्क・アナリティクス社が 戦略的パートナーシップ提携に向けた覚書を締結

空間情報サービスの株式会社パスコ（代表取締役社長：島村 秀樹、本社：東京都目黒区、以下パスコ）は、データアナリティクス大手の Verisk Analytics, Inc.（ヴェリस्क・アナリティクス、CEO：スコット・スティーブソン、本社：米国ニュージャージー州ジャージーシティ、以下ヴェリस्क社）と、両社の強みを生かし、日本・アジア地域をはじめとしたグローバルな視野での、空間情報を活用した革新的ソリューションの共同開発を目的に協業分野の本格的検討と戦略的パートナーシップ提携に向けた覚書を2019年7月24日（水）に締結いたしました。



左) パスコ 代表取締役社長 島村秀樹 / 右) ヴェリस्क社 CEO スコット・スティーブソン

ヴェリस्क社は、米国において、高精細な航空写真ライブラリとAIを活用した画像認識により、損害保険業界向けのリスク評価や損失シミュレーションなどの空間情報とデータ分析を組み合わせたサービスを提供しています。一方、パスコおよびグループ会社は、日本やアジア地域での事業展開実績と航空機をはじめ、人工衛星やMMS（車両搭載型レーザー計測システム）などを活用したデータ取得能力を有し、広域災害時には迅速な被災状況の把握のための画像解析や分析などの成果を広く社会に提供しています。

両社は、覚書の締結に基づき、日本・アジア地域を中心に、その他地域においても、地理的・社会的特性や各国のビジネスニーズを踏まえた空間情報ソリューションの開発に向け、共同で検討を進めていきます。

■覚書の締結に至った経緯

今回の覚書締結に至った経緯は、2019年7月24日「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」の適時開示にある、当社連結子会社である Keystone Aerial Surveys, Inc.（以下、キーストーン社）の全出資持分をヴェリスク社の傘下の Geomni, Inc.（以下 ジオムニ社）に譲渡することで、協業関係の構築に発展したものです。

ジオムニ社は、ヴェリスク社の傘下でデータ整備を担う会社として2017年に設立され、全米を網羅する航空撮影ネットワークの構築を目標に掲げ、米国内で多くの航空撮影業者を統合してきました。今回の株式譲渡と覚書の締結により、全米における航空撮影事業をジオムニ社に委ね、当社は、人工衛星やMMSなどを活用した収集技術と加工・処理技術でヴェリスク社との革新的ソリューションの共同開発や協業分野の本格的な検討に着手します。

■株式会社パスコについて

1953年に航空測量事業者として創業したパスコは、航空機のほか、人工衛星やヘリコプター、ドローン、専用車両、船舶などに多彩なセンサーを搭載し、社会の事象を正確に捉える測量・計測技術を元に、収集した情報に加工・処理・解析を加え、国土の管理・保全、災害・環境対策、インフラの老朽化対策などの社会の課題を解決する空間情報サービスを提供しています。

（東証1部上場、セコムグループ、連結売上高：519億円、連結従業員数：2,693名）

<各種センサー技術を活用した状況分析における主な実績>

- 1) 地震、津波、河川氾濫、土砂災害などによる家屋の被災状況把握と分析
- 2) 津波、土砂災害などにおける危険度判定やシミュレーション
- 3) 固定資産税評価調査における土地、建物の異動判読

■Verisk Analytics, Inc.（ヴェリスク社）について

1971年に設立され、米国において、保険、天然資源、金融サービスなどにおける、予測分析と意思決定ソリューションを提供する米国大手企業です。損害保険会社向けの精度の高いリスク分析と評価サービスを主たる事業としています。

（米国NASDAQ上場、連結売上高2,630億円、連結従業員数：約8,300名）

■本件に関するお問い合わせ

株式会社パスコ

（報道機関）

広報部

<https://www.pasco.co.jp/>

TEL：03-6412-2800